

古代交通研究会第22回大会

律令国家の辺境と交通—揺れ動く境界と領域—

2023年7月1日(土)・2日(日)

【趣旨】

辺境における、戦争・行政区分の施行・民衆支配といった様々な問題が、律令国家の諸政策と密接にかかわって進められたことは言うまでもありません。なかでも東北地方においては、律令国家の支配領域拡大やそれに伴う行政区分の設置・分立などが、複雑な過程の中で展開してゆきます。こうした変化は、駅路を始めとする交通路の変遷との連動も想定され、陸奥と出羽の交通も含めた陸路はもちろんのこと、海上交通なども射程に入れながら複眼的に検討する必要があると考えます。

そこで今大会シンポジウムでは、特に東北地方を例として、辺境地域における交通と領域編成を取り上げます。文献史学・考古学双方の視点から、また太平洋側・日本海側の両地域からの各報告により、辺境地域における交通を軸としながら、律令国家の進出に伴う地域の変化の諸相について議論を深め、古代の辺境地域についての総合的な理解に結びつけてゆきたいと思えます。

【日程】

第1日目(7月1日) 13:00~17:30

総会

〔事例報告〕下記の遺跡・事例の報告を予定しています。

- ・「小松原遺跡(栃木県大田原市)」
- ・「高野遺跡(滋賀県栗東市)」
- ・「横大路(奈良県橿原市)」
- ・「和歌山県下の南海道想定駅路」

第2日目(7月2日) 10:00~16:30

〔テーマ報告〕下記の報告(題目は仮のものです)とパネルディスカッションを予定しています。

- ・相澤央氏 「越後・出羽の領域変遷と交通路」
- ・高橋学氏 「出羽山道駅路と「秋田之道」を復元する」
- ・永田英明氏 「古代東北の物流・交通と地域編成—陸奥側の視点から」
- ・村田晃一氏 「陸奥国における版図の拡大と交通—飛鳥・奈良時代を中心に—」

【会場】

慶應義塾大学三田キャンパス

【開催方法および申込方法】

- ・対面およびオンライン併用のハイブリッド方式での開催を予定しております。
- ・参加は無料ですが資料(紙媒体・PDF等)の配付はありません。資料集を別途お買い求めください。
- ・参加にあたっては事前申込が必要です。事前申込の方法および資料集の販売については古代交通研究会ウェブサイト(<http://kodaikoutsu.g1.xrea.com/>)において、随時お知らせいたします。

【問い合わせ先】

古代交通研究会第22回大会事務局(藤本)

E-mail: kodaikotsu@gmail.com